

綾川武治 あやがわ たけぢ 評論家。明治二十四年四月二十三日埼玉縣生れ、昭和四十一年十一月七日歿（八九—一六）。大正四年東京帝國大學文科大學卒、九年同大法學部卒。満鐵（南滿洲鐵道株式會社）東亞經濟調査室勤務、コト日本新聞編輯局長、帝國新報社長を經て、昭和二年全日本興國同志會を組織。（一）の附猶存社、行地社に參加、また大陸國策研究所を創設し所長。九年旅順工科大学囑託、十一年衆議院議員。戰後日本革新同盟を結成し、國家主義に始終した。辯護士。

著書の「歐米亞通譯學史料」（大正十二年二月十八日聚芳閣）「萬有叢書」）、（二）「人種問題研究」（大正十四年二月二十日倉橋書店）、（三）「共產黨運動の真相と毒害性」（六版・昭和四年六月十日全日本興國同志會出版部）、（四）「世界史を以て察する日露戰爭の儘業」（昭和五年二月十日全日本興國同志會出版部）、（五）「不穩思想の真相と其對策」（再版・昭和九年一月二十日共書出版社）、（六）「將來の戰爭と思想戰」（昭和九年一月海軍省教育局「思想研究先資料」）、（七）「國家社會主義と攘撃」（合著、昭和九年一月）「植國會シンポジウム」）、（八）「アーツと國家社會主義」（合著・北條吉彌、昭和十一年二月十日日本書莊）等。

著書「アーツと國家社會主義」（合著・北條吉彌、昭和十一年二月十日日本書莊）等。